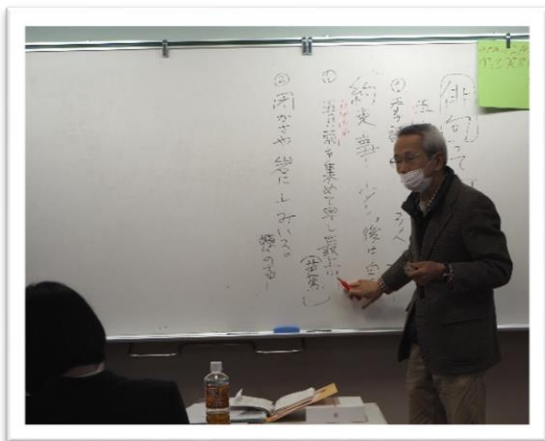


YcY LETTER わいわい通信 No. 31

R3/12/20



俳句

だんだん句会

×

高等部福祉総合科3年生

高等部福祉総合科3年生の国語「俳句をつくろう」の授業で、「だんだん句会」の句会員の方に来校いただき、一緒に俳句づくりに取り組みました。



だんだん句会のみなさんの自己紹介や俳句の紹介、俳句について教えていただいた後、「吟行」をしました。「吟行」は、

俳句づくりのために材料を探して歩くことで、その後、教室に戻って俳句づくりに取り組みました。



イラストの二人で名前つけた冬
か木からうらうらけき友のつこえ

木ガわれて冬のぼじまり空がふく

万天にふわふわ遊ぶ冬の雲

帰り道ふやけあふ友白息

空青し青の広場や 銀杏ちる

さわがしい今年も終わる学校よ

風ふいて心が踊る冬の旗

←生徒がだんだん句会のみなさんと一緒に作った俳句です。

「五・七・五」に言葉を当てはめる面白さを感じる機会となりました。

「だんだん句会」のみなさん、

ありがとうございました!